

# SSKS 療育ねっとわーく川崎

2017年1月20日発行  
No.194 (2800部)  
NPO法人  
療育ねっとわーく川崎  
発行者 江川 文誠  
編集者 谷 みどり

**新年あけましておめでとうございます。**  
今年も、療育ねっとわーく川崎のニュースをよろしくお願ひします。

編集委員から、新年のごあいさつ。  
・明けておめでとうございませう。連載3年目を迎えるクレッツシエンドを、今年もよろしくお願ひいたします。(金子文俊)

・昨年は「障害者差別解消法」、「やまゆり園の事件」など、とても大きな一年でした。今年は前向きな記事がより多く載ることを祈ります。(佐藤紀喜)

・去年のニュースで一番記憶に残っているのは、やまゆり園の事です。怖すぎて三日間は寝られなかったほど怖い衝撃でした。(松浦明美)

・明けておめでとうございませう。昨年は、やまゆり園事件や地震など、いろいろ考えさせられた1年でした。今年は、みなさまにとってよりよい一年になりますように！これからもよろしくお願ひします。(和田正義)

・現在、ICT治具HPソフトを使い連絡会のホームページ移行作業を

## 福祉を創る学校

第7回福祉を創る学校は、2016年7月26日相模原の津久井やまゆり園で起きた殺人事件について考えます。  
津久井やまゆり園の家族会（みどり会）の会長である大月さんに講演をして頂き、事件の日から今日までのご家族の気持ちを伺います。家族の気持ちに寄り添って、その上でこれからを考えてみたいと思います。

平成29年1月22日(日) 9:40~11:40 (開場9:15)  
日時・場所 港南台ひの特別支援学校 ホール  
定員: 300名 ※先着順になります。 資料代: 500円

※この講演でいただいた資料代は、経費を除いたすべてをみどり会へ寄付させていただきます。また、会場内にも募金箱を用意させていただきます。ご協力のほど、宜しくお願いいたします。

【はじめに】 9:40~9:55 山本 武さん(保護者代表)

【講座】 10:00~11:30 質疑応答を含む 【津久井やまゆり園の家族の心、あの時と今】

**大月 和真さん**  
社会福祉法人かながわ共同会 津久井やまゆり園 みどり会 会長

2016年7月26日未明、相模原市にある障害者施設【津久井やまゆり園】にて、凄惨な殺人事件が発生しました。19人の施設利用者が死亡、スタッフ3人を含む27人が重傷を負っています。数か月が経過した今も事件は終わっていません。

あの日からすべてが変わりました。家族会は津久井やまゆり園に寄り添って今日まで来ました。その節々で何を考え、どのように対処してきたのか。そして、二度と事件を起こさないために何ができるのか。皆様と一緒に考えてみたいと思います。

【司会】 猪又 康行さん(社会福祉法人なないろ 理事長)

【まどめ】 11:30~11:40 田中 正樹さん(田中神経クリニック 院長)

【主催】 よこはま福祉実践研究会【共催】 特定非営利活動法人しらいし地団、特定非営利活動法人一葉  
【後援】 横浜市障害児を守る会連盟、公益社団法人日本てんかん協会神奈川県支部

### FAX参加申込書 (045-315-7251)

ふりがな		所属	
①お名前			
②ご住所			
③電話番号		④FAX番号	
⑤講師へ質問			

申込方法 メール・FAX はがきなどで事前にお申込下さい。

【対象となる方】 講座の趣旨に賛同していただける方

【メール】 jissen-fukushi@shiroichizu.com  
※タイトルを【福祉を創る学校】として、①~④までご記入の上、送信して下さい。

【FAX】 FAX: 045-315-7251 ※①~④までご記入の上、このまま送ってください。

【ハガキ】 ※①~④までご記入の上、下記の事務局まで郵送してください。

※当日は聴講券をご持参下さいませお願いいたします。

※申込後、ご記入いただいたご住所に、聴講券（ハガキ）を発送致します。（受付できなかった場合、聴講券は発送されません。）

※当日は聴講券をご持参下さいませお願いいたします。

港南台ひの特別支援学校 ホール (JR港南台徒歩8分)  
JR港南台駅の改札口を出て、左に進むとバスターミナルがあります。横断歩道を渡り高島屋に向かって歩いていくと右前方にCOCO'Sが見えてきます。COCO'S前の【ひばり団地前】信号を左折し、しばらく歩き2つ目の信号【めじろ団地前】信号(セブンイレブンが角にあります。)を右折するとひの特別支援学校です。  
※正門は、②のところにあります。地区センター側の門は通常、閉まっておりますのでご注意ください。

※当日はスリッパ・上履き等をご持参下さいませお願いいたします。

【事務局】 〒240-0025横浜市保土ヶ谷区狩場町422-121 放課後等デイサービス アイム狩場事業所内  
よこはま福祉実践研究会 福祉を創る学校事務局 担当: 功 歩 (クヌギ アユム)

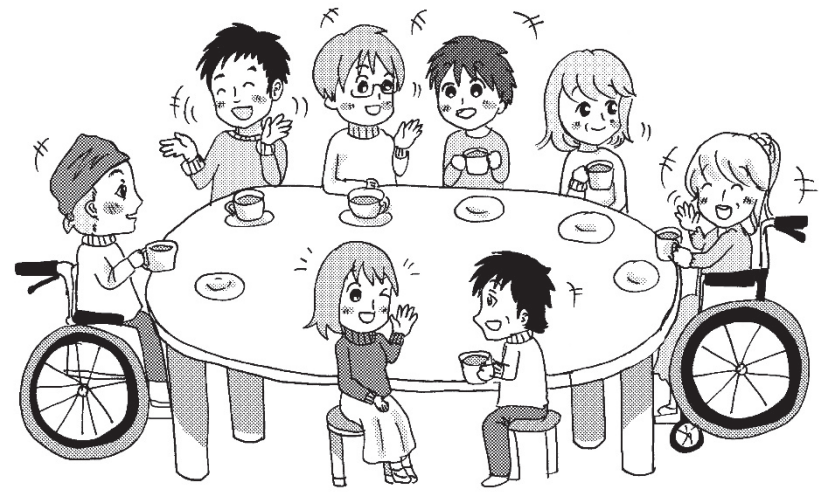
## 重症心身障害児者の意思決定支援スイッチ・コム支援勉強会

主催: NPO 法人フュージョンコムかながわ・県肢体不自由児協会  
平成29年2月4日(土) 10:00~16:00 (受付9:30~)  
会場: 神奈川県社会福祉会館 4階 第1・2研修室  
〒221-0844 横浜市神奈川区沢渡4-2  
講師: 特定非営利活動法人 地域ケアさぼーと研究所理事 下川 和洋 様  
製作講座講師 おおきなき 代表 相澤 純一 様

○参加費: 500円(資料代) 会員 400円 (当日受付にて頂きます)  
◎スイッチトイの制作材料費は、別途製作物(500円~2500円)を決定次第、お支払いいただきます  
○定員: 80名(ただしスイッチ作成は 各先着10名です。)  
○申込締切り: 平成29年1月26日(木)  
問い合わせ: 担当: 成田、山田、松田 NPO 法人 フュージョンコムかながわ・県肢体不自由児協会  
〒221-0844 横浜市神奈川区沢渡4-2 Tel.045-311-8742 Fax.045-324-8985

### 会員・賛助会員募集

(連絡先) 〒214-0014 川崎市多摩区登戸2981 サポートセンターロンド  
Tel.044-930-0160 Fax 044-930-0128 e-mail: tani@rond.jp http://rond2981.jimdo.com/  
(会費振込先) 郵便振込 00280-2-26842 特定非営利活動法人療育ねっとわーく川崎  
■会費・賛助会費の別をお書きください。振込用紙が必要な方はお知らせ下さい。年会費 2500円 賛助会費一口 2000円



### 今月号の目次

- 1 編集部新年のあいさつ.....1
- 2 地域で暮らす障害児者・高齢者など、だれもが安心安全に公共交通機関を利用できるように.....2
- 3 お知らせ.....3
- 4 理事長・事務局長あいさつ.....4
- 5 ウェルフェス2016報告.....5
- 6 私の人生バラ色.....6
- 7.....7
- 8.....8

(本誌3・4・5・6面は会員のみで郵送)



地域で暮らす障害児者・高齢者など、だれもが安心・安全に公共交通機関を利用できるように  
——なぜ市バス問題をとりあげるのか

2014年7月に私たちは、地域活動支援センター「GDPかわさき」を開所しました。そこへメンバーとして参加されることになったMさんは、通所の方法として「障害者や高齢者の方が、乗り合いバスに安心して利用出来るようになれば」と、あえて市バスを使って通所されました。

そんな中で、車椅子をベルトで固定しなかったり、運転手の対応が非常に悪かったりということを知りました。当初はごくごく一部の運転手だけだろうと思っていました。しかし、通所のたびに、車椅子のベルト固定をしない、毎回のように運転手の対応で嫌な思いをする。という事実を聞きました。私達はその都度営業所に申し入れをし、改善を要求し、営業所もその都度指導を徹底します。という回答を繰り返して行きました。

子どもと後方に倒れて、頭を打撲しけがをするという事故が起きてしまいました。当然、営業所に、今後の対応を求めましたが、具体的なことは何もなく、うやむやに済まされてしまいました。このことを受けて、私たちは営業所ではなく、市バスを管理する交通局に直に改善要求を求めました。このときの最初の交通局の回答は、「介助者がいる場合は固定ベルトを介助者がする。」というものでした。これは、運行を管理するものとして、責任を放棄するものであり、国土交通局のバリアフリー新法の指針にも反するものでした。私たちは、この回答を受けて、交通局に話し合いを求めました。その過程において、新聞にも載り、「ベルトは、運転手が責任をもって固定をする。」ということになりました。

営業所はMさんが根気よく乗り続けたいこと・繰り返し指導してくれたおかげで、今ではほぼキチンとした対応をしてくださるところもできました。そんな中でまたしても事件が起きてしまいました。Mさんが市バスに乗車したとき、車椅子の固定の仕方が誤っていたので、運転手に教えてあげたのですが、聞き入れてもらえず、その上シートベルトをきつく締められ、肋骨を不全骨折するという事態が起きてしまいました。私たちは即座に営業所と交通局に対応を求め、話し合いの場ももち、「このままでは事故はまた起きます。根本的な解決策を考えてください。」ということを求めましたが、具体的な改善策はまだに示されなままです。

私たちが求めていることは「地域で暮らす障害児者・高齢者など、だれもが安心・安全に公共交通機関を利用できる」この当たり前のことな（佐藤紀喜）  
8月19日、交通局との話し合いをした結果、交通局側としては添乗観察を行なっているが、車イスの方がいつも乗車するとは限らないので、状況を把握する事は難しいとの事でした。その為、GDPのプログラムとして添乗観察を行う事になりました。10月から来年2月頃までの4カ月間調査を行い、月1毎にメンバー・スタッフと交替で始めました。スナップが作成してくれたチェック項目リスト（乗車時の対応、スロープ及び固定ベルト、車内の様子など）を手にし、先月（10/13 木）、鷺沼駅・小杉駅間の市バスに乗車しました。私の出来る範囲でチェックマークを記入しました。そして降車時には、運転手に（ベルトの有無やマニュアル携帯）を問いかけてました。回答は「乗車対応マニュアルは携帯していないが、固定ベルトについては各営業所で講習を行なっている」と言われました。障がい者も健常者と同じように交通機関（バス）を使うのだから、運転手もスロープ及び固定ベルトをスムーズに扱えるようにちゃんと講習をやって指導をして頂くか？ 時間を要する場合など運転手とは別に乗務員も乗車させるとか？ もう少し良い工夫を考えて頂きたいと思えます。（関野啓二）

### 第18回全国障害者生活支援研究セミナー「本人中心の支援と共生のまちづくり」

日時：2017年2月11日（土）～2月12日（日）  
会場：新宿NSビル NSスカイカンファレンス（30F） NS会議室（3F）（東京都新宿区西新宿2-4-1）  
主催：特定非営利活動法人 全国障害者生活支援研究会（サポート研）  
<全国障害者生活支援研究会（サポート研）事務局>  
〒210-0848 神奈川県川崎市川崎区京町2-24-4-608  
TEL/FAX 044-271-8788 E-mail support-ken@forest.ocn.ne.jp 担当 松永・加藤  
○参加費（参加費・資料代）  
【両日とも参加】12,000円 【1日のみ参加】7,000円  
○申込締切

2017年1月27日（金）。1日目・2日目ともに、定員に達した段階で締め切らせていただきます。  
申し込み問合せ先 京王観光 調布支店（担当：大野） E-mail t.ono@keio-kanko.co.jp  
〒182-0024 東京都調布市布田3-1-7 池田ビル5階 TEL 042-484-2881 FAX 042-484-1321  
○日程・会場・内容

- ◎1日目 2017年2月11日（土）●全体会（10:00～17:00）
- ◇会場 新宿NSビル NSスカイカンファレンス ホールA・B（30F） TEL 03-3342-3755
- ◆開会挨拶（10:00～10:10）赤塚光子（当会会長）
- ◆基調講演（10:10～12:00）「歩んできた道」日浦美智江（訪問の家・神奈川）
- ◆シンポジウム（13:00～17:00）「本人中心の支援と共生のまちづくり」  
シンポジスト 清水明彦（西宮市社会福祉協議会・兵庫）・森川すいめい（精神科医・東京）・加藤忠相（あおいけあ・神奈川）・コーディネーター 松永徹（翔の会・神奈川）
- ◎2日目 2017年2月12日（日）各分科会 9:30～15:30
- ①意思決定支援（本人の思いを聴き、本人に寄り添ってそれを実現する）
- ②本音で語ろう、ともに生きる社会（相模原事件を超えて）
- ③エピソード記述（関係の中で人は生きる）
- ④④行動障害（「意味理解的アプローチ」を通して）
- ◇会場 新宿NSビル NS3階会議室（3F） 代表TEL 03-3342-3755

### 2017年度「車いす空の旅・沖縄」実施要項

<目的>車いす空の旅は、日常的に車いす等の使用により、遠路外出（含む旅行等）の困難な障がい児者が、ボランティア等の援助を受けながら、飛行機の旅を体験するとともに旅行先の気候風土、文化に直接触れ、見聞を広めることにより豊かな体験を得ることを目的に実施します。

主催及び共催 主催：公益財団法人 神奈川新聞厚生文化事業団  
共催：NPO法人 フェージョンコムかながわ・県肢体不自由児協会  
期日及び観光場所 平成29年4月13日（木）～15日（土）2泊3日  
沖縄県：美ら海水族館（神秘に満ちた沖縄の生き物たちの雄大な世界を体感）

琉球村（昔の琉球文化・芸能を体験）ほか  
募集人員 各10組20名（初めての方が優先）  
募集期間 平成28年12月1日（木）～平成29年1月20日（金）必着  
申込先 〒231-0011 横浜市中区太田町2-23  
公益財団法人神奈川新聞厚生文化事業団 「車いす空の旅事務局」まで郵送にて送付  
参加費用 1世帯（2名）につき 50,000円・但し、3人目からは、1人につき100,000円  
<事務局・問い合わせ先>（平日：10時～17時）  
NPO法人 フェージョンコムかながわ・県肢体不自由児協会  
〒221-0844 横浜市神奈川区沢渡4番地2 神奈川県社会福祉会館内  
TEL：045-311-8742・FAX：045-324-8985  
Eメール：jimukyoku@kenshikyoku.jp HP：http://www.kenshikyoku.jp/